

# 株式会社 共和建設 環境行動計画

平成20年 2月28日

## 取組方針

㈱共和建設は、創造の心と力を持って社会に貢献し、技術・品質の向上に努め顧客のニーズと信頼に応える事をモットーに事業活動に取り組んでいます。

事業活動を推進する中で、環境保全が重要課題である事を認識し、地球環境の調和、地域社会との融和を図りながら、継続的に発展していくことを目指します。また事業活動を通じて、環境に与える影響を的確にとらえ、可能な限り環境への負荷を少なくするため以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動における省エネルギーと省資源対策
- ② 建設副産物の発生抑制とリサイクルの推進
- ③ 節水・水の効率利用・紙の使用量の削減
- ④ 車両、重機の燃料の使用量を節約し二酸化炭素排出量の削減
- ⑤ 地域の環境保全・環境教育活動の推進

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

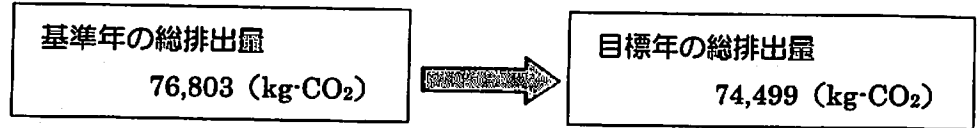
平成20年 2月20日

株式会社 共和建設  
代表取締役社長 柏野 傳一

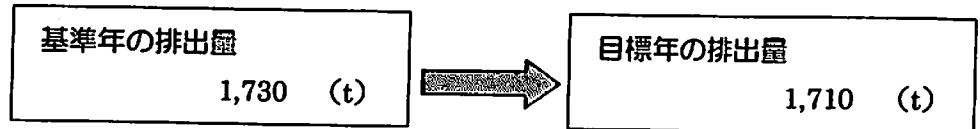
### 3 環境負荷の低減目標

2020年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも2019年です。)

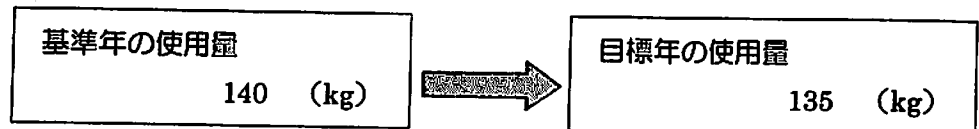
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を3%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を1%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を3%削減する



【目標4】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

【目標5】 一般廃棄物の排出量を数値的に把握する

#### 4 環境保全に向けた具体的な取組

##### 【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

###### (1) 電気量の削減

- イ. 不要室内及び休憩時の消灯の徹底
- ロ. 冷暖房の室内温度管理と保守点検
- ハ. OA 機器等の使用時間外の電源OFFの徹底と省エネタイプ機器の導入

###### (2) 燃料費の低減

- イ. ダンプトラック、建設機械の効率的（アイドリング、急発進・旧加速・空フカシ等）使用を徹底する。
- ロ. 排ガス削減型（低燃費、低公害車）の車種の選定を進める。
- ハ. 社有車の効率的（運転経路、相乗）な使用
- ニ. 灯油（ストーブの設定温度調節）使用量の低減

##### 【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- イ. 廃棄物の分別仕様を再検討し、置場の整備をする。・ /
- ロ. 作業所で発生するアスファルト殻、コンクリート殻の再利用
- ハ. 金属類の分別回収による資源化
- ニ. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の管理徹底

##### 【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- イ. 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ロ. 仕様済紙の裏面の利用
- ハ. 書類、資料の電子データ化を進める

##### 【取組4】 危険物・洗浄剤の安全管理

- イ. 保管場所を定め、管理の徹底を図る
- ロ. 定期的に安全教育を行う

【取組5】 その他

(1) 一般廃棄物

- イ. ゴミの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ロ. 廃棄物の量の把握と再利用
- ハ. 詰め替え製品、簡易包装の製品を優先する
- ニ. 製品を出来るだけ長期間使用する

(2) その他の取組

- イ. 毎月全社員による現場総点検を行い5Sを徹底する
- ロ. 技術提案制度を設け、環境への提案を募集する